

教員多忙化の現状把握と解消に向けて

■教育現場の現状

○学校現場の声

長久手市においても・・・

直接話すことが少なくなり、生徒とのコミュニケーションが少なくなった。

書類整理に大忙し。「ああ、授業のせいで仕事が中断だ」と思わず言ってしまった。

事件が起きるのは、決まって事務仕事に追われて学級にいる時間がとれないとき。

子どもに「友達が悪いことをしているので、相談したかったけれど、先生が忙しそうだったので言えなかった」と言われ、ショックだった。

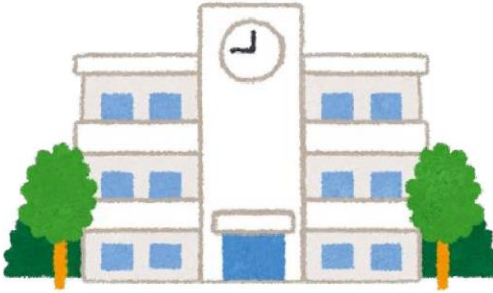
→ 中学校では、休み時間や放課後の時間は、生徒指導などに追われています。

→ 調査や報告書類が多すぎます。

→ 教材の研究や採点の時間がとれていません。

→ 時にはお茶を飲むこともできずトイレも我慢して授業を行うこともあります。

※NHK番組から引用



■一日のタイムテーブルと実態

朝			
7時	8時	9時	
授業の準備			<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導(朝練習) ・授業の準備
昼～午後			
0時	1時	2時	
生徒の質問に答える			<ul style="list-style-type: none"> ・係活動 ・図書の貸し出し ・トラブル対応 ・行事の準備など
放課後			
4時	5時	6時	
部活動、地域対応 職員会議、保護者対応 校務分掌、調査・報告書			<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導後、ノート の処理や採点など ・保護者、地域対応 ・校務分掌 ・調査などの事務

■主な課題

- 授業準備や子どもの情操教育に充てる時間の確保
- 地域とのコミュニケーションを育む時間の確保

■解消に向けた現在の取り組み

- 教員の多忙化解消プラン（愛知県）
- 教職員部活動アンケート
- 先進地視察